



「九州大学エネルギーウィーク 2017」を開催

九州大学では未来社会のエネルギーシステムを構想し、技術・産業・社会のパラダイムシフトを先導していくことを目指し、分野の垣根を越えたプラットフォームとして「エネルギー研究教育機構」を平成 28 年 10 月に設立しました。当機構では総合大学である強みを活かし、オール九大で「今世紀後半、そして 2100 年の社会のエネルギー」を具現化していきます。

この度、九州大学では平成 29 年 1 月 30 日から 2 月 3 日を「エネルギーウィーク」と位置づけ、あらゆる分野の研究者・学生が参加し、さらには国内外から著名な研究者を多数招聘し、産官学が連携していくエネルギー関連研究の一大イベントとして「九州大学エネルギーウィーク 2017」を開催します。

なお、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)が毎年開催している「I²CNER Annual Symposium」は、このエネルギーウィークの一環として 2 月 1 日(水)に行います。

1. 期間：平成 29 年 1 月 30 日(月)～2 月 3 日(金)
2. 会場：伊都キャンパス、筑紫キャンパス、アクロス福岡 等
3. セッションテーマ：九州大学のエネルギーに関する貢献、エネルギー機構の展望構想、九大の未来エネルギー研究発表会（若手・学生成果発表会）等
4. イベント構成：講演、シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション、若手研究者プレゼンテーション、ポスターセッション等
5. 主な講演者：ミュンスター大学（独）教授 Loeschel Andreas 氏、
日本エネルギー経済研究所 理事 山下ゆかり 氏、
マサチューセッツ工科大学 教授 Robert C. Armstrong 氏、
インペリアル・カレッジ・ロンドン 教授 Nigel Brandon OBE FREng 氏、他
<企業講演>
J X 日鉱日石エネルギー株式会社、トヨタ自動車株式会社、清水建設株式会社、
三菱電機株式会社、株式会社デンソー、他
6. 主な学内参加部局：エネルギー研究教育機構(Q-PIT)、
カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)、
水素材料先端科学研究センター(HYDROGENIUS)、
総合理工学研究院、応用力学研究所(RIAM)、先導物質化学研究所(IMCE)、
シンクロトロン光利用研究センター(RCSLA)、
学術研究都市推進機構(OPACK)、学術研究・産学官連携本部(AiRIMaQ)、他



【お問い合わせ】 エネルギー研究教育推進室
電話:092-802-6671 FAX:092-802-2391
Mail: enesuishin@jimu.kyushu-u.ac.jp